

視 聴 覚 教 室
利 用 案 内

平成 18 年度

LL 教室	ii
AV 教室	iv
視聴覚教材製作	v
テープライブラリー	vi
授業用視聴覚資料の利用・視聴覚機器の貸出・ホームページ	viii

〈問合せ先〉

外国語教育研究機構事務室（岩崎記念館 1 階）

Tel : 06-6368-1121 内線3331~4番

06-6368-0233 (ダイヤルイン)

E-mail : LL@www.kansai-u.ac.jp

関 西 大 学

LL教室

LL教室は、千里山キャンパスの第1学舎3号館にLL-AおよびLL-B教室（各56席）の2室、第2学舎1号館にLL-1およびLL-2教室（各48席）の2室があり、LL-AおよびLL-B教室にはCALL（= Computer Assisted Language Learningの略称）システムが、LL-1およびLL-2教室にはLLシステムが設置されています。

1 LL-A・LL-B教室の概要

これらの教室では、CAIとLL学習の二つの機能にプラスして、カセットテープレコーダー（教師側のみ設置）、MDレコーダー、DV/VHSビデオ、全世界対応VHSビデオ、CD/DVDプレーヤー、教材提示装置などのAV機器が活用できます。

このCALLシステムでは、AV機器の利用ができる「AV」、CALL機能が利用できる「CALL」、AVとCALLの両機能が利用できる「ADVANCED」の三通りの利用ができます。

また、TOEICテストのスコアアップを図るための英語学習システムである「ALC NetAcademy（アルクネットアカデミー）」も利用可能となっています。

【教師側機器】

CALLシステム……PanasonicエルキューブステージEZ

ビデオ機器……DV/VHSビデオ、全世界対応VHSビデオ、CD/DVDプレーヤー、教材提示装置、ビデオプロジェクター

オーディオ機器……カセットテープレコーダー、MDレコーダー

コンピュータ機器……制御用パソコン（Windows XP）、先生用パソコン（Windows XP）、プリンタ

【学生側機器】

コンピュータ（Windows XP） 56台

MDレコーダー 56台

ヘッドセット 56台

センターモニター 28台（2席に1台）

2 LL-1・LL-2教室の概要

これらの教室では、カセットテープ、ビデオテープ、DVD、LD、CD、MD、コンピュータソフトなどの視聴覚教材を活用することができます。

また、教師用だけでなく、学生卓にもモニターテレビとLLテープレコーダーを設置していますので、教材と学生の声を同時に録音することができるなど、一般の教室にはないLL教室特有の機能を使って授業を行うことができます。

【教師側機器】

ビデオ機器……VHS、8ミリ、マルチディスク（LD/CD）プレーヤー、DVDプレーヤー、教材提示装置、ビデオプロジェクター、*クローズドキャプションレコーダー

オーディオ機器……**LLシステム、MDレコーダー

コンピュータ機器……パソコン（Windows 98）、Macパソコン（LL-1 = Mac OS X）、プリンタ

【学生側機器】

LLテープレコーダー	48台
ヘッドセット	48台
14インチモニターテレビ	24台（2席に1台）

*クローズドキャプションデコーダー……マルチディスクプレーヤーとVHSで、クローズドキャプションの映像を再生するとモニター画面に英語字幕の表示をON・OFFすることができます。

**LLシステム……ビクターマルチメディアLLシステムLL-6800を設置しています。担任者毎にシステムディスクを使用し、起動します。

3 LL教室の使用申込について

春学期、秋学期または通年の使用は、使用年度の前年11月中旬から12月下旬頃までに、各専修・言語のLL教室委員または外国語教育研究機構事務室へ申し込んでください。詳細なご案内は、11月中旬、各学部教授室（教員控室）および研究棟入口に掲示する予定にしています。

空き時間の臨時使用は、随時受け付けています。使用日の2週間前までに申し込んでください。



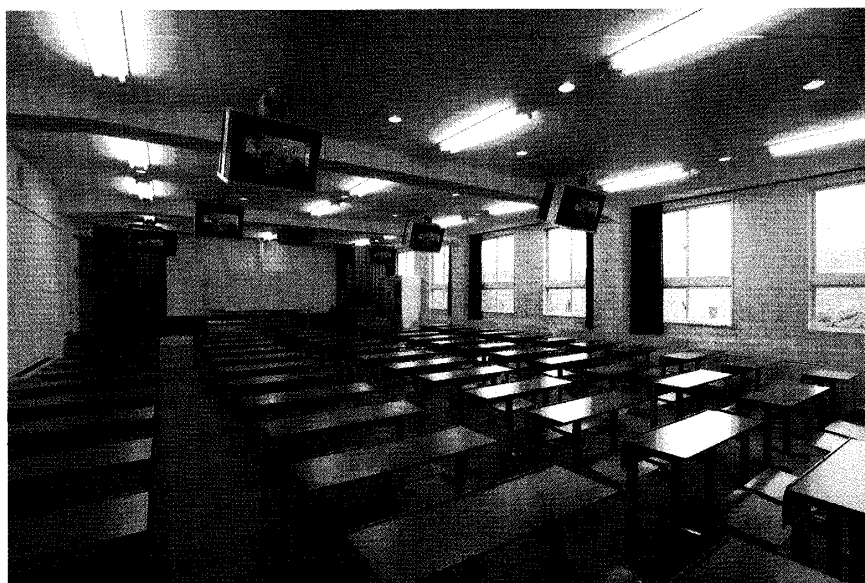
第1 学舎LL-A教室

AV教室

AV教室は、第1学舎3号館にAV-AおよびAV-B教室の2室があり、より効果的な視聴覚教育の実践とその方法の研究・開発を行うことを目的に設置しています。

この教室では、ハイビジョン機器、デジタルビデオ機器、デジタルオーディオ機器、コンピュータ機器、スライド映写機などを活用することができます。

収容人員は、AV-A教室が134名、AV-B教室が136名となっています。



AV-A教室

AV教室において利用可能な視聴覚機器は、次のとおりです。

1 AV-A教室

(1) ビデオ機器

W-VHSビデオ (HD-VHS, VHS)、全世界対応ビデオ (PAL, SECAM)、8ミリビデオ、HD-LD / LDプレーヤー、DVDプレーヤー、教材提示装置、フォトビデオカメラ、クローズドキャプションデコーダー、LD-Gデコーダー、BSTVチューナー、天井吊下型29インチモニターTV×6台、130インチコンピュータ対応型ビデオプロジェクター

(2) オーディオ機器

カセットテープデッキ、LLテープレコーダー、CDプレーヤー、DATレコーダー、MDレコーダー、ステレオスピーカー

(3) コンピュータ機器

パソコン (Windows XP)、Macパソコン (Mac OS X)

(4) 光学機器

スライド映写機×2台

2 AV-B教室

(1) ビデオ機器

W-VHSビデオ (HD-VHS, VHS)、全世界対応ビデオ (PAL, SECAM)、8ミリビデオ、デジタルビデオ (DV)、HD-LD / LDプレーヤー、DVDプレーヤー、教材提示装置、クローズドキャプションデコーダー、LD-Gデコーダー、BSTVチューナー、天井吊下型29インチモニターTV×8台、130インチコンピュータ対応型液晶プロジェクター

(2) オーディオ機器

カセットテープデッキ、CDプレーヤー、DATレコーダー、MDレコーダー、大型ステレオスピーカー

(3) コンピュータ機器

ノート型パソコン (Windows 95、テープライブラリーに別置)

(4) 光学機器

スライド映写機×2台

(5) ピアノ

AV-B教室で開催される講演会・学会などは、隣接するAVコントロール室のビデオ機器 (リモートコントローラー付ビデオカメラ、VHSビデオ) およびオーディオ機器 (ステレオカセットデッキ、DATレコーダー) を用いて、録画・録音が可能です。

3 AV教室の使用申込について

春学期、秋学期または通年の使用は、使用年度の前年11月中旬から12月下旬頃までに、外国語教育研究機構事務室へ申し込んでください。詳細なご案内は、11月中旬、各学部教授室 (教員控室) および研究棟入口に掲示する予定にしています。

空き時間の臨時使用は、随時受け付けています。使用日の2週間前までに申し込んでください。

視聴覚教材の製作

多様なオーディオ・ビジュアル教材の製作に対応するため、音声教材作成装置、映像編集装置、VHSカット編集装置およびノンリニア (デジタルビデオ) 編集装置を岩崎記念館に設置しています。

視聴覚教材の製作は、主として次のものが可能です。

1 ビジュアル

- (1) VHS・ノンリニア (デジタルビデオ) 編集装置による自動編集
- (2) VHS、8ミリビデオ、デジタルビデオ (DV) の教材録画
- (3) VHSビデオ (PAL, SECAM方式を含む) の教材製作

2 オーディオ

カセットテープ、CD、DAT、MD、レコードの教材録音

なお、視聴覚教材の製作およびテレビ放送の録画は、著作権法に抵触しない場合において行います。教材製作をご希望の方は、外国語教育研究機構事務室で所定の手続を行ってください。

テープライブラリー

1 テープライブラリーの開室場所・期間・時間について

テープライブラリー（以下TLと略す）は、千里山キャンパス第1学舎3号館4階TL及び第2学舎1号館4階MML室TLコーナーの二カ所で主に学生用の自学自習室として開室しています。授業期間中の月曜日～土曜日、第1学舎は9:00～16:45まで、第2学舎MML室TLコーナーは9:00～21:15まで利用することができます。開室期間・時間の詳細は「テープライブラリー利用案内」または「テープライブラリー開室カレンダー」を参照ください。

教職員の方も利用できますのでご利用ください。

2 TLの利用について

- (1) カセットテープ、CDの室外利用
- (2) カセットテープ、ビデオテープ、CD、LD、DVD、CD-ROMの室内利用
- (3) 持ち込み教材・資料の室内利用
- (4) カセットテープへの声の吹込み（録音）

※室内利用・室外利用の手続きは、学生証または教職員証が必要です。



第1学舎テープライブラリー

3 TL教材・資料について

TLには、カセットテープ、CD、ビデオテープ、LD、DVD、CD-ROMの教材・資料があります。

外国語学習教材として、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、朝鮮語、日本語のカセットテープ、CDを多く揃えています。それらに付随しているテキストもあります。その他、約20カ国語の教材があります。

これらのカセットテープ、CD教材のジャンルは、総合、発音、翻訳・通訳、聴解、文法、読本、会話、単語、検定、文学、月刊等に分類されていて、各個人のニーズに合った教材を選べるようになっています。よく利用されるのはNHKラジオ・テレビの各国語月刊CDの学習教材です。その他各国語の検定対策用教材、TOEIC、TOEFL、外国語科目教科書で使用されている教材に人気集中しています。また、TOEICテストのスコアアップを図るための英語学習システムである「ALC NetAcademy」が利用可能になっています。

映像教材のジャンルも歴史、社会科学、自然科学、言語、映画・シナリオ等と多種類あります。

人気のあるジャンルは映画です。映画は、製作年度の古いものから最近のヒット作品まで幅広く取り揃えており、文学の名作も映像で楽しむことができます。また、クローズド・キャプション付き映画は、従来の映像および音声に加えてグラフィックス情報（文字、絵など）が記録されているので、英語字幕等を画面上に自由に表示することができ、学習に非常に便利になっています。またDVD教材の中には、字幕・音声においてマルチ言語対応のものもあり多種多様の外国語学習が可能となっています。TLでは、外国語以外にも、ヒットしたTV放送のビデオ化作品、歴史、美術、音楽、スポーツ等のソフトを見ることができます。

4 教材・資料の検索について

教材・資料の検索は、パソコンによるMLRシステムで行っており、視聴覚教室ホームページ（次ページの写真参照）の「視聴覚資料の検索」から利用できます。

一般検索、分類記号による検索、簡易検索の三通りの検索方法から、収蔵している教材・資料のデータを見たり、プリントアウトすることもできます。

5 TLの設備・機器について

(1) TL（第1学舎3号館）

ア AV席6席（CD/LD3席、DVD/全世界対応VHSビデオ1席、DVD/ベータビデオ1席、DVD1席）

イ マルチメディア・ブース6席（パソコン、VHSビデオ、全世界対応VHSビデオ、DVD、MD）

ウ オーディオ席4席（LLテープレコーダー、ヘッドセット）

エ 2人用視聴席1セット（28インチテレビ、VHSビデオ、DVD）

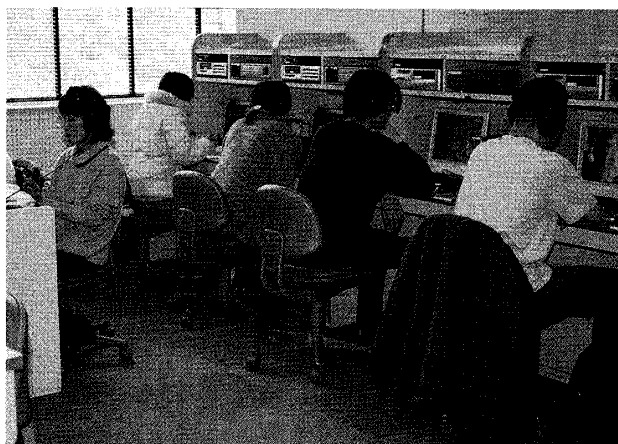
(2) MML室TLコーナー（第2学舎1号館）

ア AV席5席（CD/LD/VHSビデオ3席、DVD/VHSビデオ2席）

イ マルチメディア・ブース6席（パソコン、VHSビデオ、全世界対応VHSビデオ、DVD、MD）

ウ オーディオ席3席（LLテープレコーダ、ヘッドセット）

エ グループ（5人用）視聴席1セット（34インチテレビ、CD/LD、VHSビデオ、DVD）



マルチメディア・ブース（第2学舎MML室テーブルライブラリーコーナー）

授業用視聴覚資料の利用・視聴覚機器の貸出

【授業用視聴覚資料の利用】

授業用視聴覚資料（以下「資料」と略す）の利用は、授業、研究及び自己研修等に使用する場合に、教職員（専任教育職員・非常勤講師・専任事務職員）を対象に行っています。

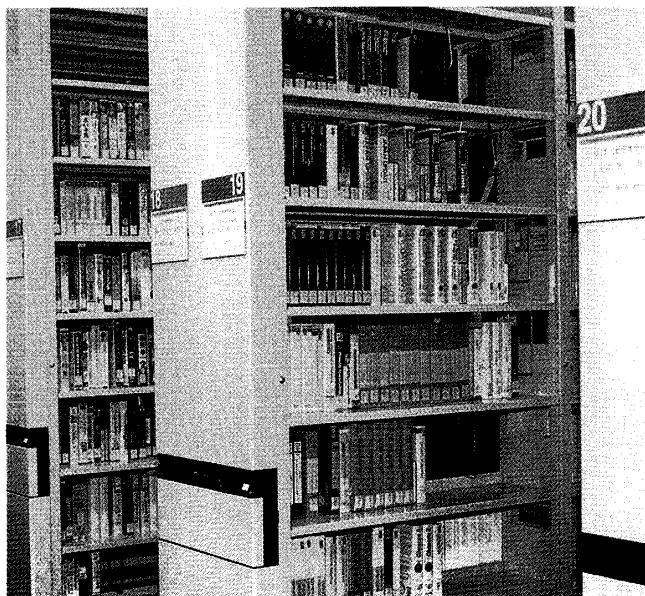
資料の検索は、視聴覚教室ホームページ（下の写真参照）で可能ですのでご利用ください。資料検索画面にログインする際は、利用者IDは職員証の裏面に記載されている図書館利用者番号11桁を、パスワードは誕生日の月日4桁（例：4月1日生まれ 0401）を入力してください（なお、ログイン後にパスワードの変更ができます）。

資料の利用数・期限は、20本以内、2週間以内ですが、更新の手続きを行えばさらに2週間の延長が可能です。希望の資料が利用中のときは、予約することもできます。

また、授業で長期間継続して使用される資料は、長期の利用もできます。

利用を希望される方は、外国語教育研究機構事務室までご来室のうえ、所定の手続きを行ってください。

なお、上記の授業用視聴覚資料の他に、テープライブラリー配架（前ページ参照）の資料がありますが、この資料の利用を希望される場合は、テープライブラリーにご来室のうえ、所定の手続きを行ってください。



視聴覚教材資料室

What's New?

テープライブラリー
利用案内

視聴覚資料・機器の
貸出

新着視聴覚資料の
紹介

関西大学
視聴覚教室

関西大学
視聴覚教室
LL@www.kansai-u.ac.jp

Copyright © 1997 by Kansai University
Last modified Wednesday, 07-Nov-2003 12:03:52 JST

<http://www.kansai-u.ac.jp/LL/index.htm>

【視聴覚機器の貸出】

授業、行事等に使用される場合、教職員（専任教育職員・非常勤講師・専任事務職員）にDVDプレーヤー、ポータブル・ビデオ・プロジェクター等の視聴覚機器を貸出します。

機器の貸出回数・期限は、2台以内、1週間以内ですが、当該機器の使用に必要な付属品、アクセサリーなどの周辺機器はその回数に含まれません。

貸出しを希望される方は、外国語教育研究機構事務室までご来室のうえ、所定の手続きを行ってください。